

平成30年度版  
秋田市環境基本計画年次報告書（29年度の状況）

平成30年11月  
秋 田 市

本報告書は、秋田市環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）第10条の規定に基づき、本市の環境の状況、市が講じた環境施策の実施状況等を明らかにするため、作成したものです。  
 本報告書の内容は、秋田市環境基本計画（平成24年3月改定）で定めた数値目標の達成状況および主な取組の状況について記載しています。

平成30年11月  
 秋田市環境部環境総務課

## 目次

<b>環境基本計画数値目標の達成状況</b>	1
<b>主な取組の状況（平成29年度）</b>	
第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります	
第1節 大気環境	8
第2節 水環境	10
第3節 生活環境	11
第2章 多様な自然をとらとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます	
第1節 自然環境	13
第2節 身近な自然	14
第3節 自然の公益的機能	16
第4節 歴史的・文化的環境	20
第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします	
第1節 廃棄物	25
第2節 エネルギー・水資源	28
第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます	
第1節 環境保全活動	31
第2節 環境配慮対策	32
第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します	
第1節 環境教育・環境学習	34
第2節 地球環境問題	37
<b>別添資料</b>	39

## 環境基本計画数値目標の達成状況

※1 分野別実施計画の改定等で新たな目標値が設定されているものは、最新の目標値を記載しています。

※2 評価(目標年度を経過したものについても、参考として評価をしています。)

- ◎ 【目標達成】目標を達成、維持している。
- ↑ 【目標未達】前年度比で数値が改善した。
- 【目標未達】前年度比で数値が横ばいである。
- ↓ 【目標未達】前年度比で数値が悪化した。

### 【総括】

平成29年度は全47項目中、24項目で目標を達成、維持していました(達成率は約51%)。目標を達成されなかった項目のうち、前年度比で数値が改善したものが7項目、数値が横ばいであったものが7項目、数値が悪化したものが6項目ありました。また、数値の把握が困難なため、評価できなかった項目は3項目でした。

## 第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります

### 第1節 大気環境

環境指標	目標値 (※1)	目標 年度	29年度実績値	評価 (※2)	課所室	
① 大気 汚 染	二酸化窒素	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が $0.06\text{ppm}$ 以下)	32年度	1日平均値の年間98%値 $0.013\text{ppm}$	◎	環境保全課
	浮遊粒子状物質	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下)	32年度	1日平均値の年間2%除外値 $0.036\text{mg}/\text{m}^3$	◎	環境保全課
	光化学オキシダント	環境基準の達成 (1時間値が $0.06\text{ppm}$ 以下)	32年度	1時間値の最高値 $0.108\text{ppm}$ 、年平均値 $0.038\text{ppm}$	→	環境保全課
	二酸化いおう	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が $0.04\text{ppm}$ 以下)	32年度	1日平均値の2%除外値 $0.003\text{ppm}$	◎	環境保全課
	微小粒子状物質	環境基準の維持達成 (1年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下かつ1日平均値の年間98%値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下)	32年度	1年平均値 $10.9\mu\text{g}/\text{m}^3$ 1日平均値の年間98%値 $29.0\mu\text{g}/\text{m}^3$	◎	環境保全課
	ベンゼン	環境基準の維持達成 (1年平均値が $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ 以下)	32年度	年平均値 $0.0011\text{mg}/\text{m}^3$	◎	環境保全課

トリクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m <sup>3</sup> 以下)	32年度	年平均値 0.000036mg/m <sup>3</sup>	◎	環境保全課
テトラクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m <sup>3</sup> 以下)	32年度	年平均値 0.000026mg/m <sup>3</sup>	◎	環境保全課
ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (年間平均値が0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下)	32年度	年平均値 0.012pg-TEQ/m <sup>3</sup>	◎	環境保全課
二酸化窒素 (自動車排ガス)	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.021ppm	◎	環境保全課
一酸化炭素 (自動車排ガス)	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が1ppm以下)	32年度	1日平均値の年間2%除外値 0.5ppm	◎	環境保全課
② 公用車の低公害車導入率	平成22年度=181台/343台 →平成32年度=100%	32年度	71.8%(205台/286台)	↑	環境総務課

## 第2節 水環境

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室	
① 水質汚濁	環境基準健康項目	環境基準の達成 (カドミウム等27項目)	32年度	12河川、20地点で調査を行い、すべてにおいて環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	環境基準生活環境項目	環境基準の達成 (pH等6項目、河川のBODを除く。)	32年度	22河川、34地点で調査を行い、大腸菌群数が25地点で環境基準を達成できなかった。	→	環境保全課
	河川のBOD	環境基準からさらに引き下げて設定	32年度	22河川、34地点で調査を行い、1地点で環境基準が達成できなかった	→	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (1pg-TEQ/L以下)	32年度	河川2地点、海域1地点で調査を行い、全ての地点で環境基準を達成していた。 河川 最低値 0.041pg-TEQ/L 最高値 0.079pg-TEQ/L 平均値 0.060pg-TEQ/L 海域 0.046pg-TEQ/L	◎	環境保全課

② 地下水	環境基準の達成	27年度	平成元年度から市域を1kmメッシュで区切り、5年間で一巡する地下水質測定計画を定め、地下水質調査を行っている。平成29年度は、市内16か所の井戸で調査を行い、調査した井戸で環境基準を達成した。	◎	環境保全課
③ 汚水の処理率	平成22年度=95.5% → 平成30年度=97.0%	30年度	98.4%	◎	上下水道局 総務課
④ 水質汚濁事故	平成17年度=41件 → 平成27年度=半減	27年度	事故件数 27件 (経年で見た場合において増加、減少といった一定の傾向は特に見られない。)	↓	環境保全課

### 第3節 生活環境

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 一般環境騒音	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	一般環境における昼間および夜間の騒音調査を市内5か所で行い、全ての時間区分で環境基準を達成していた。 一般環境騒音調査 5地点24時間連続 環境基準適合率 昼100% 夜100%	◎	環境保全課
② 道路交通振動	要請限度以下のレベルを維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	主要幹線道路沿いの10か所で昼間および夜間の交通振動調査を行い、全調査箇所、全時間帯で要請限度を下回っており、人体に感じないレベルであった。	◎	環境保全課
③ 悪臭	苦情件数の低減 (平成17年度=19件 → 平成32年度=件数半減)	32年度	苦情件数 17件	→	環境保全課
④ 土壌の重金属	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	該当事業なし	—	環境保全課

⑤ 土壌のダイオキシン類	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% →平成32年度=100%)	32年度	公共用地を中心とした一般環境3か所、発生源周辺3か所で調査を行い、全ての地点で環境基準を達成していた。 一般環境 最低値 0.051pg-TEQ/g 最高値 0.078pg-TEQ/g 平均値 0.065pg-TEQ/g 発生源周辺 最低値 0.062pg-TEQ/g 最高値 6.6pg-TEQ/g 平均値 3.3pg-TEQ/g	◎	環境保全課
--------------	--	------	--	---	-------

## 第2章 多様な自然をととび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

### 第1節 自然環境

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
市域の緑地等の割合	平成19年度=83.8% →平成32年度=83.6% →平成42年度=83.5%	42年度	83.3%(H28.10.1現在)	→	都市計画課

### 第2節 身近な自然

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 市街化区域内における緑地面積	平成19年度=1,837ha →平成29年度=1,877ha	29年度	1,854ha	↑	公園課
② 市街化区域内における幹線市道の街路樹整備率	平成17年度=ほぼ100% →平成27年度=100%	27年度	ほぼ100%	◎	道路維持課

### 第3節 自然の公益的機能

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 市面積に占める森林面積の割合	平成21年度＝68.0% → 平成32年度＝69.0%	32年度	67.7%	→	産業企画課
② 間伐実施面積	平成21年度＝2,591ha → 平成27年度＝7,870ha	27年度	10,700ha	◎	産業企画課
③ 間伐実施による二酸化炭素吸収量	平成21年度＝8,370t → 平成27年度＝58,454t	27年度	101,650t	◎	産業企画課
④ バイオエタノールの製造原料としてのもみがらの利用	平成21年度＝0t → 平成27年度＝2,250t	27年度	該当事業なし	—	産業企画課
⑤ 市面積に占める農用地面積の割合	平成21年度＝10.6% → 平成32年度＝10.6%	32年度	9.5% (求積方法の変更による減少であり、実際の農地面積は減少していない。)	↓	産業企画課
⑥ 海辺の保全のためのボランティア清掃に係る支援件数	平成22年度＝31件 → 平成32年度＝45件以上	32年度	18件	↑	環境都市推進課

### 第4節 歴史的・文化的環境

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
市の歴史的、文化的施設への入場者数	平成22年度＝553,049人 → 平成27年度＝725,000人	27年度	559,385人	↑	文化振興課

### 第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

#### 第1節 廃棄物

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 市民一人あたりの家庭系ごみの排出量(資源化物を除く。)	平成25年度=527g/人・日 → 平成37年度=約10%削減、約480g/人・日	37年度	509g/人・日	↑	環境都市推進課
② 事業系ごみの排出量(資源化物を除く一般廃棄物)	平成25年度=45,559t/年 → 平成37年度=約10%削減、約41,000t/年	37年度	45,187t (7月に発生した水害に伴う災害廃棄物の発生等により、前年度比247t増となったもの。)	↓	環境都市推進課
③ 一般廃棄物のリサイクル率	平成25年度=32.1% → 平成37年度=約38%	37年度	29.2%	↑	環境都市推進課
④ 最終処分場への埋立量	平成25年度=3,375t → 平成37年度=約10%削減	37年度	3,259t	↑	環境都市推進課

#### 第2節 エネルギー・水資源

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 市民一人あたりの家庭系の電力使用量(電灯需要)	平成21年度=2,151kWh/年・人 → 平成32年度=10%減、1,935kWh/年・人	32年度	2,123kWh/年・人(平成26年度) (電力自由化により平成27年より公表されていない。)	—	環境総務課
② 市内での都市ガス使用総量	平成21年度=40,235千m <sup>3</sup> /年 → 平成32年度=10%減、36,211千m <sup>3</sup> /年	32年度	47,522千m <sup>3</sup> /年(平成28年度) (都市ガスの使用総量は増加傾向が続いている。)	↓	環境総務課
③ 水道施設の整備(有効率の向上)	平成22年度=92.4% → 平成28年度=95%以上	28年度	94.5% (寒波の影響で給水管の破裂等による漏水が多く発生し、有効率が減少したと考えられる。)	↓	上下水道局総務課
④ 省エネルギー住宅比率	平成20年度=65% → 平成32年度=70%	32年度	71%(平成25年住宅・土地統計調査)	◎	住宅整備課



## 第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

### 第1節 環境保全活動

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
市で認定した自然環境保全活動を行っている団体	平成17年度=3団体 →平成27年度=5団体	27年度	5団体	◎	環境総務課

## 第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

### 第1節 環境教育・環境学習

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① こどもエコクラブの登録認定数と参加子ども人数	平成17年度=40クラブ、987名 →平成27年度=40クラブ、1,000名以上	27年度	23クラブ、1,056名	◎	環境総務課
② 出前講座の開催回数と受講者数	平成22年度=41回、1,908名 →平成32年度=45回、1,800名	32年度	28回、1,256人 (児童数の減少や小学校の総合的な学習の時間におけるニーズの多様化などの影響で、開催回数が減少している。)	↓	環境総務課

### 第2節 地球環境問題

環境指標	目標値	目標年度	29年度実績値	評価(※)	課所室
① 市域の温室効果ガス排出量	平成17年度=3,551千t-CO <sub>2</sub> →平成32年度=平成17年度比10%減	32年度	平成26年度(統計上の最新値)=3,850千t-CO <sub>2</sub> (平成17年度比8.4%増、対前年度比で1.4%増)	→	環境総務課
② 秋田市役所の温室効果ガス排出量	平成24年度=130,416t-CO <sub>2</sub> →平成28年度=平成24年度比4%減	28年度	115,062t-CO <sub>2</sub> (平成24年度比11.8%減)	◎	環境総務課

# 主な取組の状況(平成29年度)

## 第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

### 第1節 大気環境

#### (1) 大気環境の監視体制の整備等

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内10か所の大気測定局で大気汚染物質の常時監視を行った結果、光化学オキシダント、非メタン炭化水素を除く5項目(二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素および微小粒子状物質)で、大気環境基準又は指針値を達成していた。</li> <li>測定機器の更新(将軍野局の風向風速計、山王局の窒素酸化物計および風向風速計、茨島局の一酸化炭素計および仁井田局の風向風速計)を行った。</li> </ul>	環境保全課
② ダイオキシン類対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌4か所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。</li> <li>ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している2工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。</li> </ul>	環境保全課

#### (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	29年度の実績	担当課所室															
① 大気・水質等環境保全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。</li> <li>法対象施設の立入調査 8工場・事業場</li> <li>特定粉じん排出等作業の立入調査 37件</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>公害関係法令等に基づく届出</th> <th>大気汚染防止法</th> <th>秋田県公害防止条例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定粉じん排出等作業実施届出</td> <td>39件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の設置届出</td> <td>10件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の廃止届出</td> <td>36件</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>氏名等変更届出</td> <td>79件</td> <td>82件</td> </tr> </tbody> </table>	公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例	特定粉じん排出等作業実施届出	39件	—	ばい煙発生施設の設置届出	10件	11件	ばい煙発生施設の廃止届出	36件	27件	氏名等変更届出	79件	82件	環境保全課
公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例															
特定粉じん排出等作業実施届出	39件	—															
ばい煙発生施設の設置届出	10件	11件															
ばい煙発生施設の廃止届出	36件	27件															
氏名等変更届出	79件	82件															
② 公害防止協定の締結と運用	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するよう求めるとともに、対策状況について報告を求めた。	環境保全課															

### (3) 自動車排ガス対策の充実等

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 低公害車導入・普及	市民・事業者により率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 特殊車両を除いて算出した低公害車保有率は、平成28年度末時点では、64.0%(194台/303台)であったが、平成29年度末時点では71.8%(205台/286台)と上昇している。 ※別添資料→39ページ	環境総務課
② 自転車等駐車場の整備	実績なし	交通政策課
③ 道路改良事業	10路線、延長1,384mの道路改良工事を実施した。	道路建設課
④ 交差点改良事業	実績なし	道路建設課
⑤ 幹線道路整備事業・街路事業	外旭川新川線(寺内工区)については用地取得、建物補償などを実施した。秋田環状線(牛島駅前工区)については、用地取得、建物補償、道路工事などを実施した。泉外旭川線については、支障物件移設補償などを実施した。千秋久保田町線については、支障物件移設補償、用地取得、建物補償を実施した。	道路建設課
⑥ 交通安全施設等整備事業	道路反射鏡24基、道路照明灯2基、道路区画線203kmおよび歩道60mを整備した。	道路維持課
⑦ 道路緑化整備事業	街路樹の維持管理として、6,225㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、1,751本の高木剪定ならびにツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植29本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を25か所実施した。なお、本事業の予算確保から事業実施まで、全て各市民サービスセンターにおいて実施している。	道路維持課
⑧ エコドライブの推進	エコドライブ講習会を開催した。 ・開催日 平成29年5月20日(土) ・場所 秋田県警察運転免許センター ・参加者数 16名	環境総務課
⑨ 地方バス路線維持対策事業	生活バス路線を確保するため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス事業者: 秋田中央交通株式会社 ・補助系統数: 46系統 ・補助額: 50,330千円(一般財源: 31,881千円、県補助: 18,449千円)	交通政策課
⑩ 美の国あきたエコ交通キャンペーン	毎月第4金曜日をノーマイカーデーとして、庁内放送や広報により、徒歩や自転車、公共交通機関を利用した通勤への転換を呼びかけた。 ・平成29年10月実績(重点実施月) ノーマイカーデー参加者: 399名 早起き時差出勤参加者: 298名	交通政策課

## 第2節 水環境

### (1) 水環境の監視体制の整備等

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	人の健康の保護に関する項目については、調査を行なった12河川、20か所すべてにおいて環境基準を達成していた。また、生活環境の保全に関する項目では、調査を行なった22河川、34か所において、生物化学的酸素要求量1か所、大腸菌群数が25か所で環境基準を達成できなかった。	環境保全課
② 有害化学物質対策事業	公共用水域の水質および底質調査を河川2か所(岩見川上流、梵字川)、海域1か所(向浜沖2km)で実施した結果、全箇所ダイオキシン類の環境基準を達成していた。また、地下水の水質調査を1か所(川尻)で実施した結果、ダイオキシン類の環境基準を達成していた。	環境保全課

### (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・特定施設設置等届出件数 166件 ・立入検査 65特定工場延べ88検体 673項目 排水が基準に不適合だったのは1事業場で、不適合項目の内訳は水素イオン濃度が1件であった。	環境保全課
② 公害防止協定の締結と運用【再掲】	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するよう求めるとともに、対策状況について報告を求めた。	環境保全課

### (3) 生活排水対策の充実等

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 浄化槽設置整備事業	公共下水道事業計画(汚水処理計画)のうち、下水道事業計画の区域、農業集落排水事業による整備地域および個別排水処理施設整備対象地域を除いた地域における浄化槽の設置促進のため、国・県の補助制度を活用し、設置費の一部を助成する制度を設けている。平成29年度は、2件の補助申請があった。(参考:設置届件数 53件)	環境保全課
② 浄化槽整備推進事業	平成29年度は、浄化槽を4基設置した。	下水道整備課
③ 農業集落排水事業	砂子淵地区の機能診断委託と飛沢地区の実施設計委託を行った。	下水道整備課
④ 水洗便所改造資金融資あっせん制度および助成金制度	助成金利用件数 ・融資あっせん:12件 あっせん金額:7,160千円 ・助成金交付:185件 助成金額:5,680千円	給排水課
⑤ 公共下水道事業	平成29年度末実績 ・汚水面整備 A=27.6ha ・下水道普及率 93.3% ・処理可能人口 289,594人(住基人口:310,412人)	下水道整備課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑥ 流域下水道建設費負担金	秋田市負担分(81.09%) ・補助対象分 324,927千円 ・単独分 0千円 ・計 324,927千円	上下水道局総務課
⑦ 上下水道教室の開催	夏休み親子水めぐりの旅 ・開催日 平成29年7月30日 参加者 23名 ・内容 施設見学、漏水探知体験 一般向け上下水道教室 ・開催日 平成29年10月27日 参加者 14名 ・内容 施設見学、利き水体験 出前上下水道教室(連合婦人会講習会) ・開催日 平成29年11月15日 参加者 39名 ・内容 水道料金と下水道料金のしくみ 出前上下水道教室(飯島小学校) ・開催日 平成29年12月12日 参加者 86名(うち児童81名) ・内容 ペットボトルろ過実験と水の大切さについて	上下水道局総務課
⑧ 下水道設見学受け入れ	施設見学者数 4団体 157名 内訳 小中高生(園児含) 3団体 116名 一般 1団体 41名(一般見学者数は、小中高生の引率者含む)	下水道施設課
⑨ 下水道管渠改築事業	土崎港中央四丁目ほかで、下水道管渠改築工事を実施 ・下水道管渠改築延長 L=6902.02m ・工事費:1,342,553,400円	下水道整備課

### 第3節 生活環境

#### (1) 生活環境の監視体制の整備等

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	主要幹線道路沿い17か所および一般環境地域5か所で騒音の調査を実施した。また、主要幹線道路沿い10か所で振動の調査を行った。 ・道路交通騒音調査 全ての時間区分で環境基準を達成したのは12か所、超過したのは5か所であった。なお、全地点で要請限度を超過していなかった。 ・一般環境騒音調査 全調査地点、全時間帯で環境基準を達成していた。 ・道路交通振動調査 全調査地点、全時間帯で要請限度を超過していなかった。	環境保全課
② ダイオキシン類等対策事業【再掲】	・大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌4か所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している2工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。	環境保全課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 有害化学物質対策事業	継続的に摂取される場合には、人の健康を損なうおそれのある物質で、大気汚染の原因となる有害物質については、市内2か所で汚染状況の調査を行った。 このうち環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質については、環境基準を達成していた。	環境保全課

## (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音規制法および振動規制法に基づく以下の届出を受理した。 ・騒音規制法に基づく届出 109件(設置・廃止・氏名変更等) ・振動規制法に基づく届出 54件(設置・廃止・氏名変更等) ・特定建設作業届出 騒音規制法に基づく届出 15件 振動規制法に基づく届出 14件	環境保全課
② 道路工事の環境指導	道路工事に関する許可証や承認証に、騒音、振動等に配慮するよう条件を付している。 ・道路占用許可件数 2,332件 ・自費工事施行承認件数 110件	建設総務課

## (3) 生活環境の保全対策の充実等

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音、振動、悪臭に関する苦情相談は合計で43件となっており、内訳は次のとおりであった。 ・騒音苦情 24件(建物の建築・解体現場での重機による作業音、事業所から発生する作業音) ・振動苦情 2件(騒音苦情と同じく建物の建築・解体現場での重機による振動) ・悪臭苦情 17件(畑等からの堆肥臭や腐敗臭、生活活動による雑排水からの悪臭、事業活動による悪臭等)	環境保全課
② 環境配慮指針の普及・啓発	「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。	環境総務課
③ 開発行為の指導・許可	開発許可に際し、開発工事中の環境保全対策等の条件を付した。(平成29年度開発許可実績5件)	都市計画課

## 第2章 多様な自然をととび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

### 第1節 自然環境

#### (1) 多様で貴重な自然の保全

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 自然環境現況調査	<p>秋田市自然環境保全条例第3条第5項に規定する自然環境の保全等のための調査、研究、情報の提供、助言等を行うことを目的に、本市の環境保全行政の基礎資料とする自然環境に関する調査を行った。</p> <p>【秋田市北部地域のため池等夏の植物の自然環境調査補完調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託期間 平成29年8月17日(木)～12月28日(木)</li> <li>・調査期間 平成29年8月17日(木)～9月16日(土)</li> <li>・調査内容 ため池やその周辺に生育する植物の調査</li> <li>・調査箇所 秋田市金足地区の6箇所 ①待入堤、②岩瀬堤、③小栗堤、④乃木堤、⑤高岡前堤、⑥長岡堤</li> </ul>	環境総務課
② 特別天然記念物カモシカ食害対策事業	農業被害に対して防護網3,300m、忌避臭袋120セットを支給した。	文化振興課
③ 命のつなぎ(種の保存)事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴを調査する目的で、NPO法人秋田水生生物保全協会、秋田県立新屋高等学校理科研究部ならびに34名のボランティアの協力により、水生生物調査を実施した。</li> <li>・ゼニタナゴの保全のために作製した池(保護池)の中で、477尾の稚魚を孵化させ、441尾を沼に放流した。</li> <li>・同じ保護池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む786個を沼に放流した。</li> <li>・シナイモツゴ用の保護池の中で、350尾の稚魚を孵化させ、すべて沼に放流した。</li> <li>・ゼニタナゴ保全活動の一環として、外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて5,356尾を駆除した。</li> <li>・大森山公園の自然の普及啓発を目的とした自然観察会を実施し9名の参加があった。</li> </ul>	大森山動物園

## (2) 自然とふれあいの場の創出

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 都市・農村交流促進事業	<p>1 都市農村交流事業</p> <p>(1) 農業体験日帰り交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「親子で楽しむ野菜の植え付け&amp;収穫体験事業」 実施日 平成29年7月15日(土) 参加者 21名 内容 春菊の手摘み、ナスの定植体験</li> <li>・第2回「親子で楽しむ野菜の植え付け&amp;収穫体験事業」 実施日 平成29年8月26日(土) 参加者 21名 内容 ナスと枝豆の収穫体験</li> <li>・第3回「親子で手刈りの稲刈りを体験しよう」 実施日 平成29年9月24日(日) 参加者 11名 内容 稲刈り体験、だまこもちづくり</li> <li>・第4回「こひつじ保育園農業体験」 実施日 平成29年9月28日(木) 参加者 46名 内容 野菜の収穫体験、新米でおにぎりづくり</li> </ul> <p>(2) 農業体験宿泊交流 実施期間 平成29年8月～平成30年3月 参加者 22名 内容 首都圏在住者等を対象として、農業体験や自然体験を中心とした農泊体験を実施。</p> <p>2 岩見川清流資源活用イベント 実施日 平成29年6月17日(土) 参加者 94名 内容 川魚のつかみ取り、稚魚の放流、川魚の炭焼きと石焼き鍋の提供</p> <p>3 援農ボランティア事業 実施期間 平成29年6月～10月 参加者 99名(延べ) 内容 援農ボランティアを派遣し、繁忙期の農家を直接的にサポートするもの。</p> <p>4 河辺せせらぎウォーク 実施日 平成29年6月4日(日) 参加者 200名 内容 へそ公園～鶯養～伏伸の滝を往復するウォーキング企画 ※交流人口数の実績(1～4への参加者数) 514名</p>	産業企画課
② 太平山自然学習センター運営事業	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→40ページ	太平山自然学習センター

## 第2節 身近な自然

### (1) まちの中の緑の保全と創出

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 道路緑化整備事業【再掲】	街路樹の維持管理として、6,225㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、1,751本の高木剪定ならびにツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植29本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を25か所実施した。なお、本事業の予算確保から事業実施まで、全て各市民サービスセンターにおいて実施している。	道路維持課
② 都市景観形成事業	景観計画区域内における行為の届出(大規模行為)届出総件数70件に対し、審査および指導を行い、その全てに対し、景観形成基準に適合する旨の判断をしている。	都市計画課
③ 都市公園整備事業	千秋公園のさくら景観整備を実施した。進捗率(事業費ベース)81.2%	公園課



取組名	29年度の取組実績	担当課所室
④ 緑化重点地区整備事業	地球温暖化対策の一層の促進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の再整備を実施するもので、平成29年度は 檜山末無町街区公園および仁井田西潟敷第二街区公園の再整備を実施した。 ※国の交付金事業の変更に合わせて、平成25年度より事業名を吸収源対策公園緑地事業としている。	公園課
⑤ 都市公園バリアフリー化事業	都市公園のバリアフリー化を図り、障がい者、高齢者や子供など、誰でも安心して利用できる公園の再整備を実施するもので、平成29年度は保戸野桜町街区公園、川尻カイハ街区公園、御野場第一街区公園および二葉町第二街区公園の再整備を実施した。	公園課
⑥ 保存樹管理事業	秋田市が指定した保存樹が、偶然の事故により第三者の生命、身体や財物に損害を与えたことにより、秋田市および樹木の所有者や管理者が法律上の損害賠償を負った場合に備え、総合賠償責任保険に加入した。	公園課

## (2) 親しみやすい水辺の保全と創出

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 内水面資源維持対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見川漁業協同組合(定額補助 1,600,000円) 事業実施期間 5月26日～6月23日 放流河川 岩見川 業種/放流日/購入・放流数 アユ/5月26日、6月9日/75,000尾 ヤマメ/6月9日、6月18日、6月23日/110,000尾 イワナ/6月23日/10,000尾</li> <li>・仙北西部漁業協同組合(定額補助 140,000円) 事業実施期間 6月1日～10月21日 放流河川 雄物川 業種/放流日/購入・放流数 アユ/6月8日/200kg ヤマメ/7月11日/5,000尾 イワナ/7月11日、7月31日/10,000尾 コイ/10月21日/150kg</li> <li>・秋田市購入 業種/放流日/購入・放流数 サケ/4月16日/30,000尾 405,000円(放流河川 旭川、主体 秋田青年会議所) ヤマメ/6月6日/3,000尾 51,840円(放流河川 白山川、主体 上新城地区振興会、上新城小学校)</li> </ul>	農業農村振興課
② 河川改修事業	普通河川古川について、延長240mの護岸整備を実施した。	道路建設課
③ 河川環境整備事業	普通河川古川について、延長40mの護岸整備を実施した。	道路建設課
④ 橋りょう整備	新川橋の架け替えに向けて、下部工(橋台、橋脚)の工事を行った。	道路建設課

### (3) 雪と向き合うまちづくりの実践

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 除排雪対策事業	冬期間の市民生活の安全・安心の確保と都市機能の維持を図るため、ゆき総合対策基本計画に基づき、「秋田市道路除排雪対策本部」を設置し、効果的な道路除排雪の推進を図った。	道路維持課
② 雪みち計画(歩道無散水消融雪施設の設置)	取組実績なし	道路維持課
③ 冬みち安全安心対策除雪強化事業	取組実績なし	道路維持課
④ 市民向け除排雪支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型除雪機械を15町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。</li> <li>・ダンプトラックを3町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。</li> <li>・個人所有の小型除雪機等への燃料を59団体に支給し、地域の除排雪作業を支援した。</li> <li>・住宅地の空き地を地域住民用小規模堆雪場として25町内27箇所確保し、地域の除排雪作業を支援した。</li> </ul>	道路維持課
⑤ 公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方バス路線維持対策事業 生活バス路線の維持のため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。</li> <li>・バス交通総合改善事業 郊外部における不採算バス路線の廃止代替交通を運行した。 秋田市マイタウン・バス西部線、北部線・笹岡線、南部線、東部線の運行を継続</li> </ul>	交通政策課
⑥ 融雪施設改良事業	市道高清水公園線ほか2路線の融雪施設改良工事(L=742m)を実施した。	道路維持課

## 第3節 自然の公益的機能

### (1) 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課
② 森林整備地域活動支援事業、森林環境保全整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備地域活動支援事業 林業事業者等による森林情報の収集活動や、森林所有者等による施業実施区域の明確化作業等の地域活動を支援した。 森林整備地域活動支援交付金 森林施業に必要な地域活動に対して交付金を交付 対象地区 4地区 面積 285.6ha</li> <li>・森林環境保全整備事業 間伐の促進を図るため森林組合等が行う間伐事業費の一部を助成した。 間伐事業費の助成 森林組合数 1団体(秋田中央森林組合) 事業量 37箇所 230.22ha</li> </ul>	農地森林整備課
③ 市有林経営	森林経営計画に基づき、造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、計画的な保育施業を実施した。 ・造林事業 枝打 14.25ha 除伐 14.25ha 間伐 41.55ha	農地森林整備課

取組名	29年度の実績	担当課所室
④ 県単局所防災事業	山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置する事業だが、平成29年度は実績なし。	農地森林整備課
⑤ 森林病虫害等防除事業	森林病虫害等防除法および秋田県森林病虫害等防除事業実施要領に基づき、森林病虫害等(松くい虫、カシノナガキクイムシ等)の早期かつ徹底的な駆除、森林病害のまん延防止により、森林の保全を図った。 ・森林病虫害等防除 防除地区 4地区 上新城、檜山、手形山、浜田 事業量 特別伐倒駆除(破碎) 材積数量 95.54m <sup>3</sup> (125本) 伐倒駆除(くん蒸) 材積数量 337.35m <sup>3</sup> (455本) 薬剤散布 散布面積 4.99ha 樹幹注入 対象木 1,198本、薬剤本数 8,015本	農地森林整備課
⑥ 林道の整備	・林道整備事業 林道の輸送力の向上と通行の安全確保を図るため、測量設計および林道舗装・改良工事を実施した。 檜田線 地区 下浜檜田地区 事業量 林道舗装工事 L=258m W=4.0m 黒川線 地区 金足黒川地区 事業量 林道改良工事 L=302m W=4.0m	農地森林整備課
⑦ 水と緑の森づくり事業	・水と緑の森づくり事業 森林環境の保全を図るため、「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、マツ林およびナラ林等において伐採処理等を実施した。 ・マツ林・ナラ林等健全化事業 地区 濁川字東沢ほか 事業量 伐採処理 処理量 374.94m <sup>3</sup>	農地森林整備課

## (2) 農地の公益的機能の保全と活用

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課
② スーパー市民農園整備事業	・椿台スーパー農園 区画数 137 平成29年4月8日(土) 農園使用開始 平成29年8月2日(水) 栽培講習会開催 ・仁井田スーパー農園 区画数 341 平成29年4月8日(土) 農園使用開始	産業企画課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 都市・農村交流促進事業【再掲】	<p>1 都市農村交流事業</p> <p>(1) 農業体験日帰り交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「親子で楽しむ野菜の植え付け&amp;収穫体験事業」 実施日 平成29年7月15日(土) 参加者 21名 内容 春菊の手摘み、ナスの定植体験</li> <li>・第2回「親子で楽しむ野菜の植え付け&amp;収穫体験事業」 実施日 平成29年8月26日(土) 参加者 21名 内容 ナスと枝豆の収穫体験</li> <li>・第3回「親子で手刈りの稲刈りを体験しよう」 実施日 平成29年9月24日(日) 参加者 11名 内容 稲刈り体験、だまこもちづくり</li> <li>・第4回「こひつじ保育園農業体験」 実施日 平成29年9月28日(木) 参加者 46名 内容 野菜の収穫体験、新米でおにぎりづくり</li> </ul> <p>(2) 農業体験宿泊交流 実施期間 平成29年8月～平成30年3月 参加者 22名 内容 首都圏在住者等を対象として、農業体験や自然体験を中心とした農泊体験を実施。</p> <p>2 岩見川清流資源活用イベント 実施日 平成29年6月17日(土) 参加者 94名 内容 川魚のつかみ取り、稚魚の放流、川魚の炭焼きと石焼き鍋の提供</p> <p>3 援農ボランティア事業 実施期間 平成29年6月～10月 参加者 99名(延べ) 内容 援農ボランティアを派遣し、繁忙期の農家を直接的にサポートするもの。</p> <p>4 河辺せせらぎウォーク 実施日 平成29年6月4日(日) 参加者 200名 内容 へそ公園～鶺鴒～伏伸の滝を往復するウォーキング企画 ※交流人口数の実績(1～4への参加者数) 514名</p>	産業企画課
④ 環境保全型農業直接支援対策事業	<p>環境保全型農業に取り組む農業者団体に対し、交付金を交付した。 対象件数 1件 対象面積 21.15ha 交付金額 1,587,240円</p>	農業農村振興課
⑤ 中山間地域等振興対策事業	<p>協定締結集落1地区に交付金を交付した。 ・金足浦山 150,124円(A=23,457㎡)</p>	農業農村振興課
⑥ 農道の整備	<p>・農道舗装事業 農業生産性の向上を図るため、未舗装の農道を市単独で舗装整備した。 農道舗装整備の実施 地区数 3地区 雄和芝野新田地区ほか2地区 事業量 3路線(舗装延長 565m)</p>	農地森林整備課
⑦ 市単独土地改良事業補助金	<p>国・県の補助対象とならない小規模土地改良事業に対し、事業費の一部を補助した。 ・小規模土地改良事業費の助成 団体数 4団体 大蔵堰水利組合ほか3団体 地区数 4地区 新寺田地区ほか3地区 事業量 4箇所(水路改修2箇所、ため池改修2箇所)</p>	農地森林整備課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑧ 県営土地改良施設等整備事業費負担金	<p>生産基盤の整備や災害の防止を目的として県が行う、ほ場、用排水路、ため池等の整備事業の円滑な実施を図るため、事業費の一部を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地集積加速化基盤整備 地区数 9地区 雄和平沢地区ほか8地区 事業量 9地区(暗渠排水工、調査設計)</li> <li>・ため池等整備 地区数 4地区 雄和釜ヶ沢地区ほか3地区 事業量 4地区(グラウト工、用水路工、法面工等)</li> <li>・戦略作物生産拡大基盤整備 地区数 1地区 雄和左手子地区 事業量 1地区(用排水路工)</li> <li>・特定農業用管水路等特別対策事業 地区数 1地区 雄和地区 事業量 1地区(管水路工ほか)</li> <li>・中山間水田畑地化整備事業 地区数 2地区 上新城地区ほか1地区 事業量 2地区(区画整理工ほか)</li> </ul>	農地森林整備課
⑨ 県単局所防災事業【再掲】	山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置する事業だが、平成29年度は実績なし。	農地森林整備課
⑩ 土地改良施設管理費補助金	多面的機能を有する土地改良施設の機能維持を図るため、施設整備費等の一部を助成してきたが、平成27年度をもって事業終了した。	農地森林整備課
⑪ 土地改良施設維持管理経費	要望等に基づき、農道の草刈り・修繕、水路修繕、碎石等の原材料交付および土地改良団体への負担金、陳情用務を行った。	農地森林整備課
⑫ 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金活動支援事業 地域共同による農地・農業用水等の資源の良好な保全と農村環境の質的向上を図る取組を支援した。</li> <li>・地域ぐるみの共同活動費の助成 組織数 84組織 末戸松本みのり会ほか83組織 地区数 84地区 事業量 対象面積5,238ha</li> </ul>	農地森林整備課

### (3) 海の公益的機能の保全と活用

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	<p>地先海域と海水浴場の水質調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田市地先海域および秋田港7か所</li> </ul> <p>人の健康の保護に関する項目および生活環境の保全に関する項目(延べ760項目)では、全調査地点で環境基準を達成していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3海水浴場(下浜、桂浜、浜田)のそれぞれ2か所</li> </ul> <p>開設前、開設中の調査ともに、すべての箇所で「水質が良好な水浴場」と判定される水質AA、または水質Aであった。</p>	環境保全課
② 定期フェリー便需要拡大推進	<p>秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会の開催(平成29年4月24日および平成29年10月27日)</li> <li>・利用促進事業 秋田港発旅行商品造成(新日本海フェリーで行く紅葉の上高地散策と秋の高山祭、東尋坊と永平寺ご参拝そして古都金沢4日間) 北海道でのPRイベント(苫小牧市)</li> <li>・宣伝活動事業 フェリーPRパンフレット配布</li> </ul>	商工貿易振興課

## 第4節 歴史的・文化的環境

### (1) 歴史的・文化的遺産の継承と活用

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 都市公園整備事業【再掲】	<p>千秋公園のさくら景観整備を実施した。進捗率(事業費ベース)81.2%</p>	公園課
② 地蔵田遺跡環境整備事業	<p>市民ボランティアと協力して史跡の整備を実施したほか、市民参加による体験イベントや学習講座等を行い、郷土学習に活用した。</p> <p>(整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3号竪穴住居屋根差し茅補修 6月1日～19日</li> <li>・1号竪穴住居屋根補修 12月14～15日</li> <li>・木柵一部更新 7月1日、14日</li> </ul> <p>(体験イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥生体験講座(差し茅・火おこし体験) 6月3日</li> <li>・弥生体験講座(石斧伐採・木柵復元体験)7月1日</li> <li>・弥生体験講座(土器づくり) 7月8日</li> <li>・竪穴住居宿泊体験 9月2日～3日</li> <li>・学習講座 10月1日</li> <li>・弥生っこ村まつり 10月14日</li> <li>・布ぞうりづくり体験 10月26日</li> <li>・弥生体験講座(冬の散策会)2月3日</li> <li>・タイムカプセル開封 通年</li> </ul>	文化振興課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 史跡秋田城跡環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地買上事業 土地買い上げ予定面積390,221.05㎡(計画期間 昭和41年～平成60年)のうち、1,097.72㎡を買い上げた。(進捗率74%)</li> <li>・史跡等保存整備事業 東大路の整備を行った。</li> <li>・秋田城跡公開活用事業 (1) 市民を対象に学習講座、史跡探訪会(自然観察会)、発掘調査体験教室、パネル展(3回)、発掘調査現地説明会、史跡散策会、東門ふれあいデー、史跡めぐりを開催した。 (2) 秋田城跡のPRに係るパンフレット等を作成し配布した。 (3) 市内の小・中学校で出前授業を行った。</li> <li>・秋田城跡史跡公園連絡橋整備事業 秋田城跡史跡公園連絡橋建設に伴う建物等調査算定を実施した。</li> </ul>	秋田城跡歴史資料館
④ 秋田城跡史跡公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡公園・公有化土地の草刈りを行った。(約20ヘクタール)</li> <li>・見学者用公衆トイレ(大畑・鶴ノ木)の清掃を行った。(週2回)</li> <li>・危険樹木の伐採・整枝を行った。(9本)</li> <li>・公衆トイレ・説明板・表示板の修繕を行った。</li> </ul>	秋田城跡歴史資料館
⑤ 史跡秋田城跡歴史資料館(仮称)整備事業	平成27年度をもって事業終了した。	秋田城跡歴史資料館
⑥ 文化財保護活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の道活用事業として、文化財イラストマップを活用した文化財まちあるきを実施した。 実施日 5月20日(土) 参加者数 20名</li> <li>・文化財保護強調週間(11月1日～7日)関連事業として文化財めぐりを実施した。 実施日 11月8日(水) 参加者数 21名</li> <li>・文化財防火デー(1月26日)に伴い防火訓練等を実施した。 実施日 1月26日(金) 参加施設・文化財 三浦家住宅、秋田城跡歴史資料館、天徳寺、旧松倉家住宅、旧金子家住宅、旧秋田銀行本店本館、嵯峨家住宅、旧黒澤家住宅、地蔵田遺跡、旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園</li> </ul>	文化振興課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑦ 赤れんが郷土館、民俗芸能伝承館	<p>【赤れんが郷土館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展・常設展の開催 アフター国文祭関連事業企画展「まんが家 倉田よしみの世界」のほか、3回の企画展を開催した。 勝平得之記念館で4回、関谷四郎記念室で2回の展示替えを行い、郷土が生んだ先人とその作品について紹介した。 国の重要文化財「旧秋田銀行本店本館(赤れんが館)」の資料と、秋田の伝統工芸品を紹介した。</li> <li>・教育普及事業 各展覧会や展示資料、郷土の歴史や文化についてより理解を深めるための講座を、5講座6回開催したほか、「第23回赤れんが館コンサート」を開催した。 赤れんが館の魅力を高めると同時に、赤れんが郷土館周辺のにぎわい創出につなげるために、7月7日に「キャンドルライトとジャズのタベ」を開催した。また竿燈まつり期間中には「洋風建築で秋田の竿燈」を開催した。</li> <li>・ネットワーク事業への参加 秋田市内の県立・市立の文化施設ネットワーク(愛称:みるかネット)の事業として、ギャラリートークリレーに参加した。</li> </ul> <p>【民俗芸能伝承館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展の開催 国の重要無形民俗文化財である「秋田の竿燈」をはじめとした郷土の民俗行事・芸能に関する資料や、市の有形文化財である旧金子家住宅を紹介した。</li> <li>・教育普及事業 秋田民謡講座などの講座を5講座18回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。</li> <li>・資料調査事業 来館者の理解を深めるため「民俗芸能・行事解説シート」を作成し、館内に設置した。</li> </ul>	赤れんが郷土館
⑧ 佐竹史料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展(年4回)</li> <li>・常設展(年2回)</li> <li>・学習講座(5講座、10日間)</li> <li>・アフター国文祭 秋田藩や佐竹氏に関する講演会開催(4回)</li> <li>・黒澤家日記解読事業(天保14年資料集(十九)を解読刊行した。)</li> <li>・館蔵資料の修復および資料調査収集事業</li> </ul>	佐竹史料館



取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑨ 千秋美術館	<p>【常設展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡田謙三記念館の常設展示を行った。(3回展示替、通年)</li> <li>・コレクション展「高橋萬年と館岡栗山」など3回開催した。</li> </ul> <p>【企画展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「明治有田超絶の美 万国博覧会の時代」展など3回開催した。</li> </ul> <p>【企画展の関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会を開催した。(4回)</li> <li>・ミュージアムコンサートを開催した。(1回)</li> <li>・親子で楽しむ夏休みワークショップを開催した。(1回)</li> <li>・呈茶会を開催した。(2回)</li> </ul> <p>【美術資料充実事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入作品 亜欧堂田善・「両国図」など2点</li> <li>・寄贈作品 梅津薫・「蒼叢の夢」など2点、</li> </ul> <p>【教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館来館記念カード「千秋美術館へ行こう!」、美術館作品鑑賞カードを発行した。</li> <li>・ワークショップ・実技講座を開催した。(10回)「金継ぎ入門」ほか</li> <li>・千秋美術館連続講座「学芸員と美術散歩」を開催した。(6回)</li> <li>・館外講座などを開催した。(3回)</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図録フェアを開催した。(1月4日から3月4日まで)</li> </ul>	千秋美術館
⑩ 藤倉水源地	<p>あきたスマートカレッジにおいて見学を実施  開催日 平成29年5月13日  参加者 49名(うち秋田市観光案内10名、県担当者7名)</p>	上下水道局総務課
⑪ 竿燈まつり振興事業	<p>国重要無形民俗文化財「竿燈」の保存・振興等を図るとともに、交流人口の増加と地域活性化を図るため、秋田竿燈まつりの開催を支援した。</p>	観光振興課
⑫ 桜・つつじまつり事業	<p>太平川の桜まつり(観桜会)実施における会場設営やイベント実施等にかかる経費について、太平川観桜実行委員会に対し、開催事業費を補助した。</p>	南部市民サービスセンター
⑬ 桜・つつじまつり事業	<p>あらかざくら公園観桜実行委員会に対して開催事業費を補助した。</p>	西部市民サービスセンター
⑭ 土崎港まつり支援	<p>地域資源である伝統行事の伝承・保存を図るため、国指定重要無形民俗文化財の「土崎神明社祭の曳山行事」を中心とする土崎港まつりの開催にあたり、土崎港祭り実行委員会に対し支援した。  また、「土崎神明社祭の曳山行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに伴い、土崎港曳山行事伝統伝承会に対して運営支援した。</p>	北部市民サービスセンター

## (2) 歴史的・文化的環境を活かした活動の支援

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市民交流プラザ 市民活動育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーへの相談件数 71件</li> <li>・市民活動団体等による打合せ利用件数 544件</li> <li>・講座関係 市民活動支援講座 2回(計49名)、ボランティア・NPO支援講座 1回(計6名)、ボランティア・NPOスキルアップ講座 3回(計60名)、まちづくり市民活動講座 2回(39名)</li> <li>・市民活動フェスタ(市民活動団体ブース展示等) 2,180名</li> <li>・サロンカフェ(市民活動情報交換の場の提供) 15回(93名)</li> </ul>	中央市民サービスセンター
② 文化施設等の事業 や活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千秋美術館 入館者数 42,802人 企画展3回とコレクション展3回、常設展を開催、ギャラリートークや講座等の教育普及事業を行った。</li> <li>・赤れんが郷土館 入館者数 23,742人 企画展4回と常設展の開催、赤れんが館コンサート等の教育普及事業を行った。</li> <li>・民俗芸能伝承館・旧金子家住宅 入館者数 40,762人 施設利用者数 9,927人 常設展示と秋田市民俗芸能合同発表会等の教育普及事業を行った。</li> <li>・佐竹史料館・久保田城御隅櫓・旧黒澤家住宅・如斯亭庭園 入館者数 52,804人 企画展3回と常設展の開催、佐竹史料館学習講座等の教育普及事業を行った。</li> <li>・文化会館 入館者数 381,273人 自主事業として、NHK公開収録番組「北国からのコンサート2017夏」、「親子で文化会館の舞台裏を探検しよう」、劇団四季「こころの劇場」秋田公演、「ダンス・ミュージックレボリューション2018」を行った。</li> <li>・秋田城跡歴史資料館 入館者数 8,075人 企画展2回と常設展の開催、講座や体験学習等の教育普及事業を行った。</li> </ul>	文化振興課
③ 文化振興基金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第34回秋田市文化選奨 芸術・学術分野において前年度優れた作品・成果を発表し、本市文化の振興に寄与した個人・団体を表彰した。 受賞者 (文芸部門) 寺田和子 詩集「七時雨」 (学術部門) 福田兼四郎 「電子図鑑 秋田の植物」/「別冊 似た植物」 (邦楽部門) 吉岡悠水 第53回日本琵琶楽コンクール優勝 演奏曲「湖水乗切」 表彰式 平成29年7月26日 場所 秋田ビューホテル</li> <li>・第67回文化の日記念式典 広く市民の文化活動を通じ、本市文化の振興・文化行政の発展に著しく貢献した個人・団体を表彰した。 受章者 秋田市文化章 (技芸(華道)部門) 安藤草楓 (社会文化部門) 藤田勝 (芸能(大正琴)部門) 佐々木嶺松 (社会文化部門) 木村繁 秋田市文化功績章 秋田市書道会 表彰式 平成29年11月1日 場所 秋田キャッスルホテル</li> <li>・秋田市文化振興助成事業 本市文化の向上に寄与すると認められる市民の自主的な文化活動に対し、事業費の一部を助成した。 一般枠 7件、ヤングクリエイター枠 1件</li> </ul>	文化振興課
④ 公民館や図書館等の 事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習室や市民サービスセンター、図書館では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。</li> <li>・生涯学習室 3件 参加延べ人数 335人</li> <li>・市民SC 12件 参加延べ人数 1,364人</li> <li>・図書館 9件 参加延べ人数 898人(講座等、写真展・資料展示)</li> </ul>	生涯学習室

### 第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

#### 第1節 廃棄物

##### (1) 廃棄物等の発生抑制

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理	平成27年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、目標達成に向けた個別施策を関係課所室で実施するとともに、個別施策の実施状況を取りまとめ、その内容について、廃棄物減量等推進審議会から意見をもらい、平成30年度以降の施策に反映させた。	環境都市推進課
② ごみ減量対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭系生ごみの減量を一層推進するため、生ごみ堆肥化容器の購入に対し、補助した。(1基につき上限3,000円、1世帯2基まで)</li> <li>購入補助設置基数 83基</li> <li>補助金額 176,500円</li> <li>・生ごみ堆肥づくりを支援するため、コンポスター(参加者102人)、ダンボール箱(参加者47人)、専用バケツ(参加者98人)を活用した講座を開催した。</li> <li>参加人数 247人</li> <li>・廃棄物の適正分別によるごみの減量とリサイクルの推進を図るため、資源化物を回収する 集団回収の実施団体および回収業者に対し、奨励金を交付した。</li> <li>交付団体 570団体</li> <li>交付業者 15業者</li> <li>奨励金 13,582,873円</li> <li>・平成29年の回収品目単価(回収数量1kgにつき)</li> <li>空きびん 1.05円 ※空きびんのみ回収数量1本につき</li> <li>空き缶 1.5円</li> <li>新聞・段ボール・紙パック 2円</li> <li>雑誌・雑がみ 6円</li> <li>古繊維 1.5円</li> <li>・ごみ減量・分別説明会、キャンペーンを開催した。</li> <li>60回</li> </ul>	環境都市推進課
③ 環境学習推進事業	小学校や児童館を訪問し、講座「みんなでごみを減らそう」を実施した。(開催回数 4回、参加人数 100人)	環境総務課
④ 総合環境センターの施設見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>【溶融施設】</li> <li>・団体数:109団体</li> <li>・参加人数:3,866人</li> <li>【リサイクルプラザ】</li> <li>・団体数:102団体</li> <li>・参加人数:3,820人</li> </ul>	総合環境センター

## (2) 循環資源の再使用・再生利用

取組名	29年度の実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	平成29年度は、203事業所を訪問し、調査・指導により、事業系一般廃棄物の分別・再資源化を図った。	環境都市推進課
② 古紙ステーション回収システムの支援	・古紙ステーション回収量 7,040t ・回収支援経費 27,070千円	環境都市推進課
③ 資源化物の適正処理	・容器包装リサイクル法に基づく、資源化物の特定事業者への引渡し量 びん無色 868,470kg びん茶色 812,820kg びんその他 664,810kg PET 850,590kg ・資源化量 缶 スチール 322,470kg 缶 アルミ 547,270kg 乾電池 19,600kg	総合環境センター
④ 廃棄物発電の実施	・1、2号溶融炉による発電量 51,110,480kWh ・平成29年度 売電収入 269,770,792円（税込み）	総合環境センター
⑤ 生活用品交換案内	平成27年度をもって終了した。	市民相談センター
⑥ グリーン購入・グリーン調達の推進	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
⑦ 各種建設・改築事業	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホウ等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品（溶融スラグ入り）を活用した。	駅東工事事務所
⑧ 各種建設・改築事業	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材（アスファルト）は再生材を使用し、取り壊した舗装（アスファルト・コンクリート）は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課

### (3) 廃棄物の適正処理

取組名	29年度 of 取組実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理【再掲】	平成27年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、目標達成に向けた個別施策を関係課所室で実施するとともに、個別施策の実施状況を取りまとめ、その内容について、廃棄物減量等推進審議会から意見をもらい、平成30年度以降の施策に反映させた。	環境都市推進課
② 廃棄物処理施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理</li> <li>溶融施設排ガス設備改修事業として、新たに設定された水銀の排出規制に対応するための設備改修に向けて、試験的に活性炭吹き込みを行い、溶融施設における排ガス中の水銀除去率(水銀濃度の低減の程度)を調査した。</li> <li>実施時期 7～8月 実施回数 4回</li> <li>事業費 4,601千円</li> </ul>	総合環境センター
③ ごみ収集業務の収集体制の見直し	直営収集車の民間委託化は、平成22年度で当初計画どおり終了した(民間委託台数 51台)。	環境都市推進課
④ 粗大ごみ戸別収集事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集量 484t</li> <li>・収集件数 18,453件</li> <li>・収集個数 43,887個</li> <li>・証紙売上額 16,718千円</li> </ul>	環境都市推進課
⑤ 産業廃棄物処理施設等の監視・指導	立入検査計画に基づき、立入検査を実施した。立入件数274件(うち文書指導1件、口頭指導26件)	廃棄物対策課
⑥ 不法投棄対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林道を中心に10台の移動式監視カメラを設置した。(延べ11箇所に設置)</li> <li>・職員、委託、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。</li> <li>職員によるパトロール 233日</li> <li>委託によるパトロール 200日(早朝30日、夜間26日を含む。)</li> <li>不法投棄監視員によるパトロール(随時)</li> <li>・全国ごみ不法投棄監視ウィークの取組</li> <li>市内13箇所にのぼり旗の掲示</li> <li>国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6月1日)</li> <li>環境展への出展(6月3日)</li> <li>・不法投棄ゼロ宣言事業を13地区で実施した。</li> <li>実施地区(金足片田、下新城岩城、上新城道川、山内松原、太平野田、添川、上北手大山田、上北手寺村、下浜名ヶ沢、河辺戸島、河辺杉沢、雄和平尾鳥、雄和女米木)</li> <li>・広報あきたおよびホームページを活用した啓発を実施した。</li> </ul>	廃棄物対策課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑦ 一般廃棄物の適正処理	<p>【収集実績(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみ 57,601t</li> <li>・粗大ごみ 484t</li> <li>・資源化物 <ul style="list-style-type: none"> <li>空きびん 2,253t</li> <li>空きかん 980t</li> <li>ペットボトル 923t</li> <li>金属類 534t</li> <li>ガス・スプレー缶 5t</li> <li>使用済み乾電池 16t</li> <li>使用済み小型家電 18t</li> </ul> </li> <li>・水銀含有ごみ 15t</li> <li>・その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>古紙類 7,040t</li> <li>集団回収 3,429t</li> </ul> </li> </ul> <p>【総合環境センター(処理量)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶融実績 110,958t</li> <li>・埋立実績 3,818t</li> <li>・破碎処理実績 4,272t</li> <li>・実績合計 119,048t</li> </ul> <p>【汚泥再生処理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理実績 37,720kℓ</li> </ul>	環境都市推進課
⑧ 畜産環境対策・有機農業等推進業務	<p>家畜排せつ物に関しては、秋田県および関係機関と連携し、秋田市内2地域(河辺・雄和)を対象とした巡回を行い、適正な処理と有効活用の啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査日 平成29年6月1日(木)、6月8日(木)</li> <li>・対象畜産農家10戸(牛飼養7戸)</li> </ul>	農業農村振興課

## 第2節 エネルギー・水資源

### (1) 省エネルギーの推進と利用効率の向上

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 環境配慮指針の普及・啓発【再掲】	「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」をホームページに掲載し、その周知を図った。	環境総務課
② エコオフィスの推進	<p>・エコあきた行動計画に基づき、年間をとおして実施した。</p> <p>・四半期毎に取組実績を報告させ、前年度同期との比較表を作成し、意識付けを行った。</p> <p>※別添資料→41ページ</p>	環境総務課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 定期フェリー便需要 拡大推進【再掲】	秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会活動内容) ・部会の開催(平成29年4月24日および平成29年10月27日) ・利用促進事業 秋田港発旅行商品造成(新日本海フェリーで行く紅葉の上高地散策と秋の高山祭、東尋坊と永平寺ご参拝そして古都金沢4日間) 北海道でのPRイベント(苫小牧市) ・宣伝活動事業 フェリーPRパンフレット配布	商工貿易振興課
④ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
⑤ スマートシティ情報統合管理基盤の構築	電力会社等から提供される市有施設全体のエネルギー使用データを分類、集計し、エネルギー使用量を管理した。 また、省エネの専門家に、市有施設の省エネ診断や設備運用アドバイス、機器調整を委託し、きめ細かな省エネを実施し、エネルギー削減に努めた。	環境総務課
⑥ 地域ESCO事業の導入	平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。	環境総務課
⑦ 町内防犯灯のLED化	平成24年度にESCOサービスにより防犯灯をLED化し、同年10月1日からESCOサービスを開始し、平成34年9月30日までの10年間の維持管理をESCO事業によることとしており、平成29年度も引き続きESCO事業者が維持管理を行った。	生活総務課
⑧ 長期優良住宅の認定	平成29年度 認定件数276件	住宅整備課

## (2) 新エネルギー利用の促進

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 新エネルギー普及・啓発事業	住宅用太陽光発電システム及びペレットストーブの導入に対し、補助を行い再生可能エネルギーの普及を図った。 【住宅用太陽光発電システム】 ・補助件数 122件 ・総最大出力 664.36kW ・補助総額 11,738千円 【ペレットストーブ】 ・補助件数 14件 ・補助総額 2,759千円 あきた次世代エネルギーパーク事業で、市民向け施設見学会などを実施し、新エネルギーに対する理解の向上と普及促進を図った。 ・見学者数 64団体 1,404人	環境総務課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
② 廃棄物発電の実施【再掲】	・1、2号溶融炉による発電量 51,110,480kWh ・平成29年度 売電収入 269,770,792円（税込み）	総合環境センター
③ 公共施設整備にあつた新エネルギーの導入	該当なし	環境総務課

### (3) 水資源の保全と有効利用

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市水道事業基本計画に基づく取組	<p>【配水管整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布設および布設替延長 25,574.9m</li> <li>・事業費 1,894,984千円</li> </ul> <p>【漏水調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査延長 864.7km</li> <li>・調査戸数 80,905戸</li> <li>・事業費 32,400千円</li> </ul> <p>【平成29年度有効率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・94.5%</li> </ul>	上下水道局総務課
② 地下水の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水質測定計画に基づき、24井戸において調査を行った(内訳 概況調査16、継続監視8)。</li> <li>・継続監視調査を実施した8井戸において、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が2井戸で、トリクロロエチレンおよびテトラクロロエチレンが1井戸で環境基準を達成できなかった。</li> <li>・その他は、環境基準を達成していた。</li> </ul>	環境保全課
③ 雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会との連携	<p>国、県および秋田市を含む流域8市町村で構成する雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会では、雄物川の環境美化や環境保全を図るため、流域一斉のクリーンアップの実施や油流出事故等に関する情報を共有するため、連絡体制の整備・強化を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雄物川流域一斉清掃(中止) <ul style="list-style-type: none"> <li>日時 6月4日(日)</li> <li>場所 雄物川右岸</li> </ul> </li> <li>・雄物川水系水質事故緊急措置演習(油類流出事故を想定) <ul style="list-style-type: none"> <li>日時 11月17日(金)</li> <li>場所 秋田市仁井田字柳林地内(秋田南大橋上流右岸、古川排水樋門付近)</li> </ul> </li> </ul>	環境保全課
④ 森林の整備	<p>造林事業</p> <p>造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、保育施業として間伐を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施業 枝打 14.25ha、除伐 14.25ha、間伐 41.55ha</li> </ul>	農地森林整備課



## 第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

### 第1節 環境保全活動

#### (1) 市民の環境保全活動の促進

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	平成29年1月～12月の資源集団回収量 ・びん9.7t、金属32.2t、新聞2,108.0t、ダンボール683.0t、雑誌類642.0t、紙パック0.6t、合計3,476tを回収した。	環境都市推進課
② 自然環境保全市民活動計画の推進	秋田市自然環境保全条例第14条に規定する、市民活動計画の認定団体に対し、活動の支援および活動のPRを行った。 【市民活動計画認定団体(5団体)】 ・大学病院前の水辺環境を守る会(愛称:ホータル会) 会員数 約80名 活動内容 水路の清掃、草刈り、生物の勉強会など ・日本野鳥の会秋田県支部 会員数 約200名 活動内容 野鳥観察等 ・秋田森の会・風のハーモニー 会員数 約300名 活動内容 炭焼き体験、植樹、森林体験等 ・高清水町内会緑を守る会 会員数 約500名 活動内容 池周辺の植栽、草刈り、桜祭り等 ・おのぼホタル会 会員数 約30名 活動内容 ホタルを取り巻く自然環境の保護、清掃、下刈り等	環境総務課
③ 活動団体への講師の派遣	ホタル生息環境保全事業の環境保全推進するため、ホタルの生息環境等についての講座を実施した。 ・日時 平成30年3月21日(水・祝) 午後1時30分～午後3時 ・対象 ホータル会会員ほか26名 ・内容 ホタルの生息環境等について	環境総務課
④ 消費者啓発事業	消費者講座開催時、ごみ減量などに関する啓発チラシを配布した。	市民相談センター
⑤ 空閑地の美化事業	空閑地の除草の指導・勧告を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 ・除草指導・勧告件数 38件 ※指導・勧告については、各サービスセンターで実施	公園課

#### (2) 事業者の環境保全活動の促進

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 公害防止管理者等設置指導	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づく次の届出を受理した。 ・公害防止統括者等の届出 公害防止組織に関する届出 23件	環境保全課
② 製造業環境担当者との情報交換	開催実績なし(法令等の改正なし)	環境保全課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 事業系廃棄物減量・再資源化事業	指導事業所 203事業所	環境都市推進課

### (3) 市、事業者、市民の連携の推進

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市環境活動推進協議会との連携	市民の快適な生活環境の確保および環境意識の向上を図ることを目的として活動している秋田市環境活動推進協議会と連携した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>古着回収 平成29年11月4日(土)午前9時～午後2時 平成30年3月10日(土)午前10時～正午</li> <li>おもてなしクリーンアップ これが秋田だ！食と芸能大祭典2017 平成29年5月20日(土)午前8時30分～午前9時30分</li> </ul>	環境総務課
② エコマップ作成	実績なし	環境総務課

## 第2節 環境配慮対策

### (1) 環境情報の整備と共有化

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行	以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事とし、「毎月の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を広報表紙に月1回掲載した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>特集記事 平成29年4月21日号「平成29年度家庭ごみ手数料相当額の使い道」 平成29年6月2日号「6月は環境月間」 平成29年10月20日号「10月は3R推進月間」 平成30年2月16日号「平成28年度決算家庭ごみ処理手数料相当額編」</li> </ul>	広報広聴課
② 市政番組の放送	環境をテーマにした番組を放送し広く市民にPRした。 <b>【広報テレビ番組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>15分番組(民放1局) 平成30年3月放送「知って得する!? 秋田市お役立ち情報」</li> <li>5分番組(民放3局) 平成29年8月放送「市民リポーターが紹介 8月はオールあきた水切り月間」 平成29年11月放送「秋田市環境部からのお知らせ」</li> </ul> <b>【広報ラジオ番組(民放2局)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年9月放送「稲わら焼きはやめましょう」</li> <li>平成29年11月放送「食う～べえタイムでおいしく食べきろう」</li> <li>平成29年12月放送「灯油タンク等の点検は定期的に」</li> </ul>	広報広聴課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
③ 環境情報の整備・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、広報、ツイッター、フェイスブック等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所)。</li> <li>・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。</li> <li>・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(3回)した(環境総務課)。</li> <li>・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内48小学校に配布した(環境総務課)。</li> </ul> 副読本 2,633部 指導の手引き 123部	環境総務課
④ 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課

## (2) 環境配慮に係るしくみの整備

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 大規模小売店舗立地法に基づく周辺環境配慮	大規模小売店舗立地法に基づく届出に対し、当該店舗の周辺の地域の生活環境の保持の観点から意見の有無を通知した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法第5条第1項(新設の届出) 1件「意見なし」</li> <li>・法第6条第2項(変更の届出) 1件「意見なし」</li> </ul> (大規模小売店舗の施設の配置に関する事項、大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項)	商工貿易振興課
② 開発指導による環境配慮	開発行為の協議時において、開発工事中の環境保全対策を指導した。 平成29年度開発許可実績 5件	都市計画課

## (3) 環境に配慮したまちづくりの実践

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 各種建設事業	外旭川地区コミュニティセンター大規模改修工事において、照明器具のLED化を行い、消費電力の削減を図った。	生活総務課
③ 各種建設事業【再掲】	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。</li> <li>・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。</li> </ul>	水道建設課
② 各種建設事業【再掲】	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックホウ等の施工機械について、排出ガス対策型とした。</li> <li>・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(熔融スラグ入り)を活用した。</li> </ul>	駅東工事事務所
④ 各種活性化事業	まちあかり・ふれあい推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治活動助成金 28,361千円</li> <li>・防犯灯電気料助成金 35,572千円</li> <li>・灯具交換・補修費助成金 206千円</li> <li>・町内防犯灯設置委託 5,230千円</li> </ul>	生活総務課

## 第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

### 第1節 環境教育・環境学習

#### (1) 環境情報の収集と提供

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行【再掲】	<p>以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事とし、「毎月の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を広報表紙に月1回掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集記事           <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月21日号「平成29年度家庭ごみ手数料相当額の使い道」</li> <li>平成29年6月2日号「6月は環境月間」</li> <li>平成29年10月20日号「10月は3R推進月間」</li> <li>平成30年2月16日号「平成28年度決算家庭ごみ処理手数料相当額編」</li> </ul> </li> </ul>	広報広聴課
② 市政番組の放送【再掲】	<p>環境をテーマにした番組を放送し広く市民にPRした。</p> <p>【広報テレビ番組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15分番組(民放1局)           <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年3月放送「知って得する! ?秋田市お役立ち情報」</li> </ul> </li> <li>・5分番組(民放3局)           <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年8月放送「市民リポーターが紹介 8月はオールあきた水切り月間」</li> <li>平成29年11月放送「秋田市環境部からのお知らせ」</li> </ul> </li> </ul> <p>【広報ラジオ番組(民放2局)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年9月放送「稲わら焼きはやめましょう」</li> <li>平成29年11月放送「食う～べえタイムでおいしく食べきろう」</li> <li>平成29年12月放送「灯油タンク等の点検は定期的に」</li> </ul>	広報広聴課
③ 環境教育の実施	<p>【自然に関わる体験活動を重点的に行っている学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 97.6%(42校中41校)</li> <li>中学校 95.8%(24校中23校)</li> </ul> <p>【総合的な学習の時間に環境を学習課題としている学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 61.9%(42校中26校)</li> <li>中学校 37.5%(24校中9校)</li> </ul> <p>【環境教育に関わる学校の取組状況とその成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的なごみの減量や地域清掃、リサイクル活動で成果をあげている           <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 92.9%(42校中39校)</li> <li>中学校 87.5%(24校中21校)</li> </ul> </li> <li>・生活と自然環境との関わりをテーマにした調査研究や地域の方々との意見交換で成果をあげている           <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 71.4%(42校中30校)</li> <li>中学校 62.5%(24校中15校)</li> </ul> </li> </ul>	学校教育課
④ 環境情報の整備・提供【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、広報、ツイッター、フェイスブック等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所)。</li> <li>・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。</li> <li>・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(3回)した(環境総務課)。</li> <li>・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内48小学校に配布した(環境総務課)。</li> </ul> <p>副読本 2,633部 指導の手引き 123部</p>	環境総務課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑤ 環境学習推進事業	環境教育・環境学習の推進のため、市民を対象に、体験型環境学習の機会を提供することにより、身近なところから環境問題の解決に向けた一人ひとりの自発的な取組を促進させようとしている。 【環境教室】 ・ホテル観察会(6月17日、6月24日) 92名 ・新エネルギーについて学んでみよう(11月25日) 20名 ・冬の自然観察会(2月10日) 26名 計138名(※みなとの水質調査は台風のため、中止)	環境総務課
⑥ 環境学習サポート事業	子どもたちが、身近な自然や地域の環境を大切にする意識を持ち、広く環境問題について正しく理解してもらうことを目的として、職員を小学校や児童館等に派遣し、環境についての講座を実施している。 ・実施回数 28回(小学校、児童館等) ・参加人数 1,256名	環境総務課

## (2) 環境学習プログラムの整備と機会の充実

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業	生涯学習室や市民サービスセンターにおいて、地引き網体験やクリスマスリース作り教室など、野外活動やものづくりなどの体験活動を実施した。(事業数29、参加延べ人数1,328人)	生涯学習室
② 太平山自然学習センター運営事業【再掲】	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→40ページ	太平山自然学習センター
③ 体験学習やふれあい教室の実施	動物の飼育や園内管理作業を体験する「お仕事体験」や「インターンシップ」などの体験学習には、合計で57件、1,263人の参加があった。また、来園者を対象に小動物とのふれあいを行う「なかよしタイム」には、開催264回で33,881人の参加があり、幼稚園や小学校などの申し込みによる「ふれあい教室」には、117件、3,472人の参加があった。	大森山動物園
④ 命のつなぎ(種の保存)事業活動【再掲】	・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴを調査する目的で、NPO法人秋田水生生物保全協会、秋田県立新屋高等学校理科研究部ならびに34名のボランティアの協力により、水生生物調査を実施した。 ・ゼニタナゴの保全のために作製した池(保護池)の中で、477尾の稚魚を孵化させ、441尾を沼に放流した。 ・同じ保護池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む786個を沼に放流した。 ・シナイモツゴ用の保護池の中で、350尾の稚魚を孵化させ、すべて沼に放流した。 ・ゼニタナゴ保全活動の一環として、外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて5,356尾を駆除した。 ・大森山公園の自然の普及啓発を目的とした自然観察会を実施し9名の参加があった。	大森山動物園
⑤ 環境教育展示	・園内で実施している絶滅危惧種ゼニタナゴの保全活動の一環として、保護池で育成した32尾を園内水槽へ移入展示し、保全活動への理解を求めた。 ・比較展示を目的とし、絶滅危惧種のシナイモツゴとキタノアカヒレタビラについても、継続して飼育展示中である。 ・西部市民サービスセンターにて、塩曳潟に生息する希少魚類3種の展示を開始し、地域の方へも保全活動への理解を求めた。	大森山動物園
⑥ 農業体験学習推進対策事業	市内小学校で実施する農業体験学習等を支援してきたが、当初の目的を達成したことから平成25年度をもって事業終了した。	産業企画課

取組名	29年度の実績	担当課所室
⑦ 環境学習推進事業【再掲】	環境教育・環境学習の推進のため、市民を対象に、体験型環境学習の機会を提供することにより、身近なところから環境問題の解決に向けた一人ひとりの自発的な取組を促進させようとしている。 【環境教室】 ・ホテル観察会(6月17日、6月24日) 92名 ・新エネルギーについて学んでみよう(11月25日) 20名 ・冬の自然観察会(2月10日) 26名 計138名(※みなとの水質調査は台風のため、中止)	環境総務課
⑧ 市職員の環境教育	・各課所室校の担当者(エコあきた日常推進員)に対し、秋田市環境配慮行動計画の取組状況および取組強化について周知した。 ・文書一斉廃棄に際し、紙類の分別・リサイクルおよび使用量の節減について職員に徹底した。	環境総務課
⑨ 環境学習サポート事業【再掲】	子どもたちが、身近な自然や地域の環境を大切にしている意識を持ち、広く環境問題について正しく理解してもらうことを目的として、職員を小学校や児童館等に派遣し、環境についての講座を実施している。 ・実施回数 28回(小学校、児童館等) ・参加人数 1,256名	環境総務課
⑩ 資源集団回収事業	平成29年度の回収品目の単価。 奨励金算出基礎 1～12月分 ・実施回数割額 450円/回(月2回以上実施した時は1回分とする) ・実施団体数 570団体 ・集団回収回数 5,040回	環境都市推進課

### (3) 人材の育成と連携の促進

取組名	29年度の実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業【再掲】	生涯学習室や市民サービスセンターにおいて、地引き網体験やクリスマスリース作り教室など、野外活動やものづくりなどの体験活動を実施した。(事業数29、参加延べ人数1,328人)	生涯学習室
② こどもエコクラブ事業	こどもが誰でも参加できる環境活動のクラブであり、環境学習・環境保全などの活動を行っている。 ・本市の状況 こどもエコクラブ登録者 23クラブ(メンバー1,056人、サポーター201人、数値は1年間の平均値)	環境総務課

## 第2節 地球環境問題

### (1) 地球環境保全対策

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 環境学習推進事業【再掲】	環境教育・環境学習の推進のため、市民を対象に、体験型環境学習の機会を提供することにより、身近なところから環境問題の解決に向けた一人ひとりの自発的な取組を促進させようとしている。 【環境教室】 ・ホテル観察会(6月17日、6月24日) 92名 ・新エネルギーについて学んでみよう(11月25日) 20名 ・冬の自然観察会(2月10日) 26名 計138名(※みなの水質調査は台風のため、中止)	環境総務課
② 酸性雨のモニタリング	酸性雨や酸性雪の実態を把握するため、降雨については市庁舎分館屋上、降雪については市営八橋球場において調査を実施した。その結果、水素イオン濃度は加重平均値で降雨が5.1、降雪が4.8となっており、秋田市の降雨・降雪は、測定以来、酸性で推移している。	環境保全課
③ グリーン購入・グリーン調達推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
④ 海外交流都市との情報交換	各海外交流都市担当者との情報交換や、ホームページ等をとおして情報収集に努めた。	企画調整課

### (2) 地球温暖化の防止

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
① 温暖化対策実行計画の推進・見直し	・エコあきた行動計画に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に努めた。 平成29年度の排出量115,062t-CO <sub>2</sub> (平成24年度比11.8%削減) ・秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市事務事業および市民、市内事業者等に対し、地球温暖化対策を総合的に推進した。	環境総務課
② 市民版ISOの推進	・日常生活において市民が気軽に活用できるスマートフォンアプリの構築・運用により、家庭での温室効果ガスの削減を図る「あきエコどんどんプロジェクト」を実施した。 ・情報紙「e-市民だより」を隔月発行し、市民への配布および公共施設への設置等により、ごみ減量、省エネ等に関する取組の啓発を行った。(平成29年8月号で終了。)	環境総務課
③ 低公害車導入・普及【再掲】	市民・事業者率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 特殊車両を除いて算出した低公害車保有率は、平成28年度末時点では、64.0%(194台/303台)であったが、平成29年度末時点では71.8%(205台/286台)と上昇している。 ※別添資料→39ページ	環境総務課
④ エコドライブの推進【再掲】	エコドライブ講習会を開催した。 ・開催日 平成29年5月20日(土) ・場所 秋田県警察運転免許センター ・参加者数 16名	環境総務課

取組名	29年度の取組実績	担当課所室
⑤ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	<p>【環境総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。</li> <li>・四半期に一度、実績について報告を受けている。</li> </ul> <p>【契約課】</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→41ページ</p>	環境総務課
⑥ オフセット・クレジット制度活用推進経費	<p>本市の環境立市を具現化する行動として認証・発行したオフセット・クレジット(J-VÉR)販売を促進し収益化を図るとともに、これで得た収益を活用した事業を実施することにより、持続可能な森林経営、森林整備の促進、市民に対する環境・地球温暖化対策の意識啓発を図った。</p> <p>・オフセット・クレジット 販売可能量 6,438t-CO2、販売量 6t-CO2</p>	農地森林整備課
⑦ スマートシティ情報統合管理基盤の構築【再掲】	<p>電力会社等から提供される市有施設全体のエネルギー使用データを分類、集計し、エネルギー使用量を管理する。</p> <p>また、省エネの専門家に、市有施設の省エネ診断や設備運用アドバイス、機器調整を委託し、きめ細かな省エネを実施し、エネルギー削減に努めた。</p>	環境総務課
⑧ 地域ESCO事業の導入【再掲】	<p>平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。</p>	環境総務課



別添資料「低公害車導入・普及」関係(P9、P37)

平成29年度 低公害車等保有・購入台数

	貨物自動車		乗合・乗用		軽自動車		小計		特殊自動車等		合計	
	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数
1 低公害車（2～9）以外	19	0	37	1	25	1	81	2	138	6	219	8
2 燃料電池自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 電気自動車	0	0	2	2	3	0	5	2	0	0	5	2
4 天然ガス自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 ハイブリッド自動車	0	0	36	5	0	0	36	5	1	0	37	5
6 プラグインハイブリッド自動車	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
7 水素自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 クリーンディーゼル自動車	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0
9 低排出ガス認定自動車												
(1) H21年10%低減(☆)	2	0	0	0	0	0	2	0	7	2	9	2
(2) H17年75%低減(☆☆☆☆)	11	0	34	4	44	4	89	8	30	0	119	8
(3) H17年50%低減(☆☆☆)	6	0	9	0	33	0	48	0	13	4	61	4
(4) H12年75%低減(☆☆☆)	2	0	2	0	0	0	4	0	2	0	6	0
(5) H12年50%低減(☆☆)	2	0	0	0	5	0	7	0	5	0	12	0
(6) H12年25%低減(☆)	5	0	3	0	3	0	11	0	0	0	11	0
小計（低公害車）	29	0	88	11	88	4	205	15	58	6	263	21
合 計	48	0	125	12	113	5	286	17	196	12	482	29

別添資料「太平山自然学習センター運営事業」関係(P14、P35)

	事業名	主な内容	期日等	対象等	人数
学校教育利用	○宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	5/10 ~2/22	72校	5,105人
	○日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(ものづくり)		1校	18人
	計			73校	5,123人
一般利用	宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	4/1 ~3/31	38団体	1,652人
	日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(ものづくり)		25団体	921人
	計			63団体	2,573人
主催事業	まんたらめ熟年塾 はじめてのガーデニング	花作りの講話、実技	4/23	一般	13人
	まんたらめ 春のファミリーハイキング	リゾート公園内ハイキング	中止	家族	0人
	まんたらめ 太平山前岳登山	太平山前岳登頂	5/21	一般	17人
	まんたらめ 夏のファミリーキャンプ	テント設営体験、バンブークラフト	7/22 ~23	家族	37人
	まんたらめ チャレンジキャンプ	太平山奥岳登山、野外炊飯、テント泊、バームクーヘン作り	中止	小学5・6年生	0人
	まんたらめ ちびっこキャンプ	花公園ハイキング、妙見山登山、木の実・木の葉のクラフト、きりたんぼ作り	10/8 ~9	小学1・2年生	44人
	まんたらめ ダッチオープン料理	ダッチオープン料理	10/15	一般	5人
	まんたらめ 秋のファミリーキャンプ	紅葉ハイキング、草木染め体験、ピザ作り	10/21 ~22	家族	37人
	まんたらめ ウィンターキャンプ	うどん打ち、館内テント泊、スノーキャンドル作り、スノーシュー体験、餅つき体験	1/5 ~6	小学3・4年生	24人
	まんたらめ 中学生交流キャンプ	スノーシュー体験活動、やきいも作り、意見交流会、	1/13 ~14	中学1・2年生	16人
	まんたらめ スノーウォーキング	スノーシューでトレッキング	1/21	一般	22人
	まんたらめ 冬ファミリーキャンプ	スキー教室、スノーキャンドル作り、餅つき体験	2/11 ~12	家族	20人
	計				235人
	その他		学校利用説明会、運営協議会、ボランティア指導・講師		
				総合計	8,154人

別添資料「グリーン購入・グリーン調達の推進」関係(P26、P29、P37、P38)  
「エコオフィスの推進」関係(P28)

秋田市役所環境配慮行動計画の取組実績について

本市では、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）および環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）等に基づき、秋田市役所環境配慮行動計画を策定し、自らの事務事業における燃料使用量等を、平成24年度を基準として、中長期的にみて年平均1%以上の削減を目標として取り組んでいます。

1 エネルギー等の使用状況

前年度比で、電気および公用車燃料が目標の1%以上の削減ができなかったが、基準年度比では、ガス以外の項目で目標を達成している。

(1) 実績値

項目 \ 年度	H24年度	H28年度	H29年度
電気使用量	62,611 千 kwh	58,344 千 kwh	58,971 千 kwh
ガス使用量	2,106 千 m <sup>3</sup>	2,059 千 m <sup>3</sup>	2,008 千 m <sup>3</sup>
灯油・重油使用量	3,078 kl	2,745 kl	2,701 kl
公用車燃料使用量	454 kl	388 kl	390 kl
ごみ排出量	1,586 t	733 t	636 t
水道使用量	628 千 m <sup>3</sup>	531 千 m <sup>3</sup>	517 千 m <sup>3</sup>
コピー用紙購入量	57,826 千枚	53,826 千枚	48,204 千枚

(2) 比較

項目 \ 年度	前年度比 (目標1%以上)	H24年度比 (目標5%以上)
電気使用量	1.1%	-5.8%
ガス使用量	-2.5%	-4.7%
灯油・重油使用量	-1.6%	-12.3%
公用車燃料使用量	0.6%	-14.2%
ごみ排出量	-13.3%	-59.9%
水道使用量	-2.6%	-17.8%
コピー用紙購入量	-10.4%	-16.6%

## 2 温室効果ガス排出量

温室効果ガスの排出量は、前年度比で6.9%減少した。

### (1) 実績値

項目 \ 年度	H24年度	H28年度	H29年度
温室効果ガス排出量	123,892 t-CO2	116,125 t-CO2	108,093 t-CO2

### (2) 比較

項目 \ 年度	前年度比 (目標1%以上)	H24年度比 (目標平成28年度 までに4%以上)
温室効果ガス排出量	-6.9%	-12.8%

## 3 環境配慮物品調達（グリーン物品調達）

グリーン購入調達目標を設定している5品目に対し、4品目において目標を達成した。

特定調達品目	調達目標	調達率	達成の可否
紙類	95%	97%	○
文具類	90%	93%	○
OA機器	95%	96%	○
照明	70%	83%	○
制服・作業服	95%	86%	×